



山口大学応用分子生命科学常盤台コロキアム

Tokiwada Colloquium in Yamaguchi University

山口大学工学部（宇部市常盤台二丁目）

医学系研究科応用分子生命科学系（工学系）では、応用分子生命科学常盤台コロキアムを開いています。分子生命科学分野の第一人者の先生方の最先端の研究のお話を聞けるチャンスです。医学系をはじめとし山口大学のすべての大学院学生・学部学生・教職員の参加を歓迎します。また、近隣の研究機関、企業の方もどうぞお誘いあわせの上おいでください。入場無料です。

第45回 2014年1月21日（火）午後4時10分より

D33 講義室

中央大学理工学部応用化学科 准教授

山下 誠先生

「新奇ホウ素化合物が拓く新しい化学：ホウ素求核剤の化学と非対称ジボランによる三重結合切断反応」

周期表において炭素の左側に位置する元素であるホウ素を含んだ化合物は合成化学において反応剤として広く利用され、その多くはルイス酸として作用することが広く知られています。最近、嵩高い置換基を有するハロボランを還元すると、ホウ素とリチウムの単結合を有するボリルリチウムが合成できることがわかりました。ボリルリチウムはアニオン性ホウ素求核種として有機化合物と反応し、対応する付加体や置換体を与えます。また、ボリルリチウムを各種典型金属・遷移金属とトランスメタル化すると、一連のボリル金属種が得られることもわかりました。講演ではこのホウ素求核種を用いた含ホウ素化合物の合成についてお話しされる予定です。

なお、この講義は医学系研究科博士後期課程の「最先端ライフサイエンス研究科目」認定の講演会です。博士課程の学生諸君は、受講簿を持参してください。多数のご来聴を歓迎します。

問い合わせ先：応用分子生命科学系専攻 上村明男（9231）

理工学研究科物質化学専攻 西形孝司（9261）

